

番号	26 - 1	申請者	神経内科医師 石崎 雅俊
<p>【審査申請課題】</p> <p>神経難病患者の流涎に対するスコポラミン軟膏の使用に関する研究</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>パーキンソン病や筋萎縮側索硬化症などの神経難病患者では病状の進行に伴い、唾液嚥下能が低下し流涎がみられることがあり、誤嚥性肺炎やQOLを損ねる原因となる。近年、5%スコポラミン軟膏を耳介後部乳様突起部に添付すると有効であることが報告されている。本邦ではスコポラミン軟膏は医薬品ではなく試薬として用いられており、本研究では萎縮性側索硬化症ガイドライン2013にも提案されているようにスコポラミン臭化水素酸塩三水和物1gに親水性軟膏19gを混ぜて5%スコポラミン軟膏を作成し、神経難病患者の流涎に対して治療効果を検討する。</p>			
審査結果	承認 (平成26年4月30日)		